

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称) 京都府綴喜郡井手町物流施設計画 新築工事	階数	地上2F		
建設地	京都府綴喜郡井手町書質中道1番、2番1、2番2、2番3、3番、3番1、4番28番、36番1、38番1	構造	S造		
用途地域	準工業地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	101人		
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)		
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2023年12月13日		
敷地面積	13,353 m ²	作成者	滝口 純一		
建築面積	9,265 m ²	確認日	2023年12月27日		
延床面積	18,024 m ²	確認者	西田 恵介		

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み #DIV/0!</p> <p>③上記①以外の #DIV/0!</p> <p>④上記+ #DIV/0!</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q: 環境品質 (Qのスコア = 2.9)		
<p>Q1 室内環境 (Q1のスコア = 0.0)</p>	<p>Q2 サービス性能 (Q2のスコア = 3.7)</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア = 2.4)</p>
LR: 環境負荷低減性 (LRのスコア = 3.2)		
<p>LR1 エネルギー (LR1のスコア = 0.0)</p>	<p>LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア = 3.2)</p>	<p>LR3 敷地外環境 (LR3のスコア = 3.1)</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。</p>		その他 特になし
<p>Q1 室内環境</p> <p>評価対象外</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高: 5.9m。 (壁長さ比率) < 0.1。 床荷重: 15000N/m²</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>特になし</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>評価対象外</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>断水377などに加えて、節水型便器も採用している。 LGS使用している。 ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>燃焼機器を使用していない。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される